

みなみ公民館だより 10月号

(令和4年10月1日 発行)

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055

No. 397



南町地区生涯学習フェスティバル ～明日につなぐ幸せのハーモニー～ 無事終了することができました。開催にあたり、実行委員の皆様をはじめ、企画、運営にご協力くださった皆様、フェスティバルに参加くださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(フェスティバル当日の来場者 143人・フェスティバル当日と展示期間9/10～30の来館者 のべ611名)



高齢者クラブ



スペシャル
コンサート



南小学校ひまわり学級
第一中学校けやき学級

埼玉土建蔵・戸田支部



くるみ保育園

展示



展示

わらび幼稚園



あやめ会



インド舞踊



吹き矢クラブ



WS点字



3B-Z

団体発表



詩吟クラブ



ハーモニー(ピアノ)

体験教室



3B体操

公民館講座

◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 10月8日(土) 午前10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

内容 点字絵本を作成

対象 市内の小学生～高校生

申込 南公民館へ



◆0歳児ママのふれあい広場

日時 10月27日(木)

午前10時～

場所 南公民館 2階和室

内容 ハロウィンごっこ

定員 10組(先着順)

申込 10月3日(月)～

電話・メール可



◆おはなしくまさん

～おかあさんがするおはなし会～

日時 10月15日(土)

午後2時～

場所 南公民館 3階集会室

◆にこにこ ONE TWO KIDS!

日時 11月20日(木)

1部: 午前10時～

2部: 午前11時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

内容 リズム遊び(リトミック)

対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者

定員 1部6組・2部6組(先着順)

申込 10月3日(月)～ 電話・メール可



蕨市立くるみ保育園

9月の十五夜！はとてもきれいな満月でしたね。保育園では年長さんが、お飾り用のお団子作りにチャレンジしました。職員が粉をこねて、子ども達が丸く成形をしました。粘土あそび感覚でスタートする子ども達でしたが、いざ取りかかると・・・思うようにまんまるにできず、苦戦する様子もうかがえました。それでも、最後まで真剣に頑張ってくれた年長さんでした。個性豊かなお月見団子が出来上がり、飾ることができました。

行事で感じる秋の訪れでした。(笑)



園長 加藤 綾子

蕨市立第一中学校 けやき学級



9月17日(土)に体育祭が行われました。たくさん練習をしてきた成果が十分に発揮された素晴らしい体育祭となりました。けやき学級の生徒は、朝から放課後まで、しっかりと練習を行い、合同体操、100m走、大縄跳び、全員リレーなどたくさんの種目をこなし、全力で取り組むことができました。交流クラスの仲間とも一緒になって頑張ることもできました。

10月の末には合唱祭があります。体育祭で深まったクラスの絆を十分に発揮できる合唱祭にしてほしいと思います。合唱祭の練習も体育祭同様に音楽の授業だけではなく、放課後練習が行われます。また、合唱祭の前には中間テストもあります。忙しい10月になりますが、体調を崩さないように、元気に頑張ってくれることを期待しています。

河鍋暁斎記念美術館 2022 年 10 月展覧会

(南町4-36-4 ☎441-9780)

企画展「暁斎・暁翠 動物画—いきものたちの世界—」展

同時開催 特別展「暁斎プラスワンシリーズ 38 勇(いさみ)の蛙(かわず)展」

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2022 年 10 月 1 日(土)～10 月 24 日(月)

休館日：毎週火・木曜、毎月 26 日～末日、年末年始

入館料：一般 600 円、高校生・大学生 500 円、小・中学生 300 円、65 歳以上 500 円

企画展では、河鍋暁斎と娘の暁翠が動物などのいきものを描いた掛軸や、下絵、画稿、錦絵などが 9 月から引き続き展示されています。特別展は 10 月から新たに、国内外約 50 名の現代作家の皆様による、蛙がテーマの展覧会を開催。蛙を描いた暁斎の作品や浮世絵を題材にした作品の数々をお楽しみいただきます。

【 今月のお勧め作品 】

「獅子の図 画稿」 暁斎(無落款) 紙本墨画 画稿

明治 19 年(1885)、イタリアから「チャリネ(キャリーニ)曲馬団」が来日しました。

暁斎が日々の出来事を主に絵で記録した『暁斎絵日記』の同年 9 月 14 日の頁を見ると、檻に入っているライオンや虎、団員が手に持った 2 匹の大蛇まで描かれていることから、暁斎がその一団の生き物たちを見に行き行って写生したということがわかっています。本図にはいつ描いたのかを示す記録が見当たらないのですが、ライオンの特徴をよくとらえた筆遣いからは、その時の経験を生かして描いた作品の一つであることがうかがわれます。

